

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年4月20日（月）～令和2年4月26日（日）〔令和2年第17週〕の感染症発生状況

第17週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。

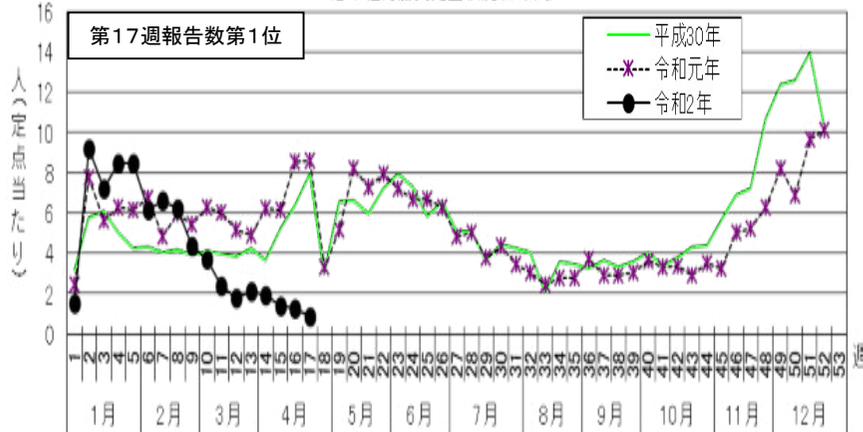
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は0.86人と前週（1.30人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.59人と前週（1.38人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

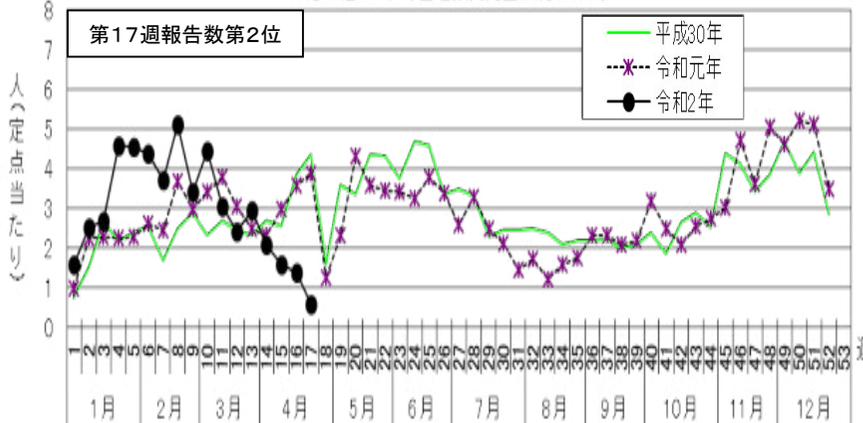
突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.30人と前週（0.30人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

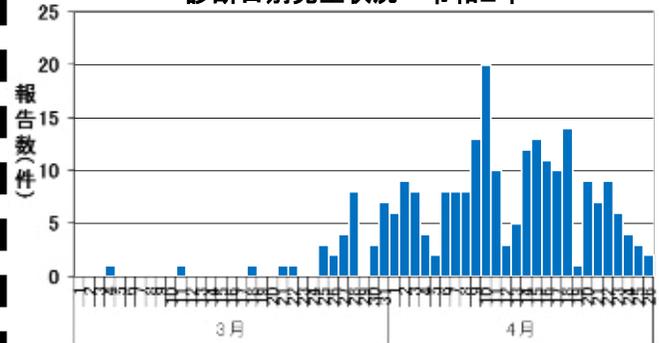


ゴールデンウィークはステイホームで！～新型コロナウイルス感染症～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、令和2年3月末から増加していましたが、4月中旬以降は徐々に減少しており、市民の皆様のご協力による効果が現れているものと考えられます。しかし、ゴールデンウィークを迎え、帰省や旅行等で人の移動が増えると、再び感染者数が増加する恐れがあります。

可能な限り不要不急の外出を控え、御自身と御家族を守りましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断日別発生状況－令和2年－



※市内医療機関からの報告数
※クルーズ船関連及び疑似症患者を除く。

ゴールデンウィークの過ごし方

①帰省・旅行を控える！

ビデオ通話などを活用しましょう



②近場の外出でも密集・密接を避ける！



公園はすいている時間・場所で

ジョギングは少人数で



③買物は少人数・すいている時間に！



通販や飲食持ち帰り、宅配も活用しましょう